

平成24年2月27日(月)

会場：あこや学園 参加者：33人

本市における行財政運営は、大変厳しい状況にあり、その厳しい状態をどうしていくのか。一つ目に新たな借金をしない。二つ目に収入を増やす。三つ目に支出を抑制するといった取り組みをしていかななくてはなりません。

今、尼崎市はどういった事をやろうとしているのか、施政方針の資料をご覧いただけたらと思うのですが、一つには支出を収入以上にしないために、今までどおり施策の見直しとか、支出の抑制に取り組んでいきます。

3月11日の東日本大震災から1年が経とうとしておりますが、大きな災害が来たとき、尼崎市の防災はどうか心配されていると思います。

尼崎市内の公共施設は老朽化が進んでおり、老朽化した公共施設をバリアフリーにし、耐震性のある建物に建て替えていかなければなりません。かつて予算に余裕があった頃に建てた施設を全て建て替えるとなれば、膨大な借金をしなければなりません。機能や場所を集約していくなかで、一定の数を減らしながら質を高めたいと考えております。

この取り組みは、平成24年度の1年間だけでできることではありませんが、積極的に進めてまいりたいと考えております。

例えば、地区会館と地域振興センターを一つにして耐震化された建物にする。施設の数を減らしていくと土地が空きます。そうした土地については、市民の皆さまにもご意見を伺いながら、良好な住宅地に、また、企業(工場)の跡地には、再度企業に進出していただき、収支バランスの整ったまちをつくらせたいと考えており、子育て世代の方たちにも、もっともつと尼崎市に住んでいただきたい。今までの施設の跡地に新しい現役世代の方が入っていただけると、そこに建った家に対する固定資産税やその方たちに支払っていただける市民税など、非常に安定的な尼崎市の財源につながります。

当然、まちの活気の支えにもなりますし、今まで以上に意識をして取り組んでまいりたいと考えております。そのためには、子育てしやすいまちにしていかななくてはなりません。これは全国的に言われていることですが、ベテラン世代に手厚くなりがちであったサービスを、子育て世代にもサービスできるように工夫したいと思います。

ただし、私も今子育て世代になりますが、今後は親の介護も行っていく必要がありますので、両方バランスをとっていくのが前提ですが、子育て世代に対する大きな負担感なく、みんなで笑って子育てができるようなまちにしていきたいということで、大きな方針の一つに掲げております。

支出をいかに抑制するかですが、尼崎市は医療費を結構支出しております。

支出を抑えるには市民の皆さまに健康な状態を維持していただくことが大切です。

健康を維持していただくために、尼崎市の広報やテレビを見ていただいているかと思いますが、尼崎ヘルスアップ戦略といまして、生活習慣病(高血圧・糖尿病・動脈硬化)による脳卒中や心筋梗塞にならないよう早めに健診を受けていただき、予防していこうという事業を実施しています。

皆さまに健診を受けていただき、自分で自覚できるように取り組む健康づくりは、全国でも一番力を入れています。皆さまが健康になって、その結果として医療費が抑制されれば、一石二鳥です。

また、皆さまがやりがいをもって仕事をし続け、あこや学園・たじかの園の方もお子様が小さいと思いますが、将来にわたって地域で安心して暮らしていけるまちづくりを行っていかないと、どんどん支出が増えてしまいます。

お互いに助け合い、皆さまが集まって一緒に力を合わせながら取り組んでいける場所の確保、そして、働ける人や働きたいと思っている人に活躍できる場の提供など、健康と併せて取り組んでいき、健康でやりがいのある活動ができ、仕事をしっかり作っていける、このような基本的な要素があって、まちに活気が出てくるのだらうと思います。

施政方針の中にも取り入れています。孤立した状態では、その人達は自立できないと思っていますので、多くの人がこの人達はどのような状態なのか想像力を働かせて、お互いを思いやりながら支え合う仕組みがなければ、生活保護に対する不信感が大きくなり、生活保護を受給しなくても良い人までもが受給しているのではないかという声も沢山聞いており、そういったことが進んでしまうと支え合いの仕組み自体がなくなってしまう、本当に必要な人に支援できなくなります。

行政としては、貧困ビジネスのようなものをシャットアウトできるような体制強化に努めております。

一方で、生活保護を長期に渡って受給せざるを得ない方達が、いきなり就職するのは難しいので、人から必要とされる社会的つながりを編みなおし、もう一度頑張ってみようと思えるように、ステップアップし応援できるように支援策を講じていきたいと思っています。

今日は、せっかく、あこや学園とたじかの園の皆さまにお集まりいただいているので、資料の「信頼とわかちあいのまちづくり」六番目の福祉は、みなさんにも関係の深い事業が出ているかと思っておりますので、少し説明をさせていただきたいと思っております。

まず見直しですが、今回、非常に大きな見直しの一つとして、こちらの園児からすると、もう少し先に利用する制度がもしあれば、いわゆるガイドヘルパー、移動支援事業の見直しをさせていただいております。これは、障害のある方が1人だけで何処かに出かけて行くのは心配だという方のための移動支援の事業で、実は尼崎市は非常に移動支援の給付利用が多く、その給付費の伸びが大きいです。

市長	<p>このままでは、お金のやり繰りが厳しいということで、なるべく移動に支障の大きい方、重度の方を優先的に、移動支援事業を利用していただきたい。そこで、重度か、そうでないかの見極めの基準を見直しさせてもらうという事業です。これは利用する方には、全然変わらないのですが、実はガイドヘルパーを派遣する事業者の皆さまがもらえるお金が重度の方は高く、軽度の方は少なくなっております。</p> <p>結局は、より重度の方だけにすると事業者さんに渡るお金が少なくなってしまう。ところが、そこが厳しくなると当然、ガイドヘルパーさんの数が減り、軽度の方が簡単に利用できなくなるのではないかと心配する声をいただきましたし、事業者さんも急激に変わると対応がしづらいいということ。</p> <p>これは障害者団体の皆さんと意見交換を経て、一年間は経過措置ですが、大幅に事業費が削減になる事業者さんには金額の差がゆるくなるような緩和措置を入れさせていただいて、再来年度からそういう措置もなくしていくように徐々に新しい見直しで対応していくよう、今進めています。</p> <p>なぜ尼崎市だけが、この事業に人気があるのか、こんなに利用者の方が多いかを考えると、障害をもつ子ども達の放課後の居場所が十分整理できていないのではないかと、お母さんからすると、どうしても移動支援でヘルパーさんを頼んで、子の様子を見守ってもらおうということになっているので、これから皆さまとも話し合いをし、当事者の皆さまの意見をお聞きし、もう少し友達同士が集まる居場所づくりができれば、移動支援のある部分の見直しができるかも知れないと思っております。</p> <p>限られたお金のなかで、いかに必要な支援をやっていくかということに組み替えていきたいと思っております。</p> <p>今回第1回の見直しをさせていただいているのですが、これも自然増といいますが、障害者の方も高齢化していきますので、高齢者の方にもヘルパーが必要なんです。</p> <p>毎年すごい勢いで事業費が増えておりますが、お金がないから止めますと言うのではなく、皆さまと一緒に知恵を出し合って、子ども達やお年寄りに必要な支援が効率よくできるように頑張っていきたいと思っております。</p> <p>一方で平成24年度予算編成に向けた主要取組事項(総括表)の主な新規・拡充項目欄になりますが、法律も変わろうとしていまして、支援法から新しく作っていきこうということで国も議論中とのことですが、それに先駆けて、もっともっと相談事業を充実させようとしています。実はあこや学園も児童発達支援センターという形で、子ども達の発達を安心して支えられるようにしていきたいと思っております。</p> <p>また、親御さん達の相談を身近に受けられるように、周辺の保育所、幼稚園と連携した取り組みができるように位置づけをしていこうと思っており、親御さん達の相談を身近に受けられる相談事業とか、障害者の就労支援、これもかなり大事なことで、今までより充実していこうとしています。これはまだ法律がどう変わるのか十分にわかっていないため、これから中身をしっかり詰めていくこととなります。</p> <p>また、皆さまからも、意見を伺いながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>私からの話が長くなってしまいましたが、私からの話は以上とさせていただいて、後半は皆さまから、ご意見ご質問をいただきたいと思っております。</p> <p>普段子育ての中で感じることなどでも結構ですので、ご自由にご発言をいただきたいと思っております。</p>
市民	<p>たじかの園を退園して、あこや学園に通っております。</p> <p>今後、市内の幼稚園へ通う予定ですが、皆さんも思っていることと思っておりますが、市長が子育てしやすいまちづくりを進めていく中で、お伺いしたいのは、児童ホームでの障害児の受け入れ体制が非常に厳しい状態となっております。</p> <p>それに対して、今度障害者自立支援法とかで、保育所の方に相談コーナーを設けていくことが法改正で決まっておりますが、尼崎市として、親が障害を持っている子どもを保育所等に預け入れ通わすことにより、親が就労できる環境が作り出せると思うのですが、どう思われますか。</p> <p>実際に私もたじかの園を退園してから、あこや学園に移るまでの一年間、一時保育で預かって頂きましたがかなり厳しい条件を申し入れされました。</p> <p>障害児の保育の厳しい受け入れ体制について、どう対処していくのか。皆さんも思っていると思っております。</p>
市長	<p>推進してほしいと言うご意見と思っておりますが、国の方でもそのような方針を出しております。</p> <p>ただ、具体的な方針については平成24年度に出てまいりますので、平成24年度に中身を考えていくこととなります。</p> <p>1つは痰の吸引など一定の医療行為を担う人材が足りないため、受け入れることが難しいというケースが第一に挙げられます。</p> <p>これも来年度より医療行為の養成講座を行い、スタッフの方々に技術を持ってもらう取り組みをやっていくことにより、スタッフが充実し、今まで受け入れが困難であった所でも受け入れを行っていきます。</p> <p>ただ、時間がかかってしまう面もあるかも知れないのですが、医療行為の養成講座を行いスタッフの技術向上に取り組みたいと思っておりますので、今しばらく見守っていただければと思います。</p> <p>本当はもっと早くできれば良かったのですが、これも徐々に、スタッフの方の対応からしていくということです。</p> <p>もう1つは保育所に通所支援といいますが、あこや学園、たじかの園を拠点として、障害をもつ子どもを受け入れている保育所に訪問支援をする体制を作ろうとしています。実は平成24年度はできておらず位置づけだけです。</p> <p>位置づけたことによって、国の制度設計を睨みながら、今おっしゃっていただいたような、普通の保育所でも受け入れをサ</p>

	<p>ポートできるようにしたいと思っております。</p> <p>1週間に何回かは、ここに来ているが、何回かは普通の保育所に通うことができないかということで、検討しており、そういう強いご要望もあります。</p> <p>児童ホームもスタッフの充実が課題となり、ご要望も強いためしっかりと受け止めさせていただきたいと思っております。</p>
市民	<p>私自身、尼崎市の児童ホームを調べさせていただきましたが、43箇所ありまして、それについて、中期、長期という形のもので、43箇所中3分の1か4分の1でも試験的にあるだけで、かなりのお母さん方、お父さん方が助かると思います。</p>
市長	<p>先ほども冒頭で申し上げましたが、結局、移動支援を使わざるを得ないと思いますが、そういうところで見直しができるのであれば、そこに使っていたお金の一部を上手く活用することによって、放課後の居場所づくりを充実させ、限られた財源の中で少しでも見直しができないか、見直すためにはどこかで財源を生み出さないといけないので、皆さまのご協力をいただく面があるかも知れません。</p> <p>本当は、実現が可能で子ども達にとっても非常にいい環境ができて、ご両親に安心して仕事をしてもらえるという目標のために、少し見直しをしていかないといけないと思っています。またご意見をいただきながら見直しを進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいいたします。</p>
市民	<p>たじかの園に通っている母親ですが、母子通園しているので仕事は基本的にはフルタイムではできません。</p> <p>しかし、子どもを健康な子どもとの時間を少しでも取らせたいと思って、保育所と両方に通園を考えていますが、受け入れ体制が少ないです。</p> <p>一時保育を受け入れている保育所が少なく、基本的に公立の保育所は、一時保育がないので、それを増やしてくれたら、選択の幅も広がると思います。</p> <p>近くに公立の保育所があるのですが、障害児の一時保育はしておりません。</p>
市長	<p>一時預かりは、やっていないのですか。</p>
市民	<p>一時預かりをしていないところが多いため、保育所の一時預かりについて、1日2,000円とか有料でもいいので、見直ししていただけるとありがたいと思います。</p> <p>少しでも保育所の利益にもなりますし、移動支援を使わなくてもすみます。</p> <p>障害児だけということではなく、健常児にも輪を広げてほしいと思います。</p>
市長	<p>実は、私も自分の娘を通わせているのですが、私立は0歳から預かってくれますが、公立は預かってくれないというように、公立のほうが内容が遅れています。</p> <p>尼崎市では、保育所の民営化を進めています。</p> <p>公立保育所は全市内で9保育所を残す予定ですが、その9保育所に集約して、数を減らす代わりに、公立でも私立でも同じサービスが受けられるようにしたいと考えています。</p> <p>決定はしておりませんが、私の方向性としては残る公立保育所では、一時預かり保育や0歳児保育を含めて、私立保育所と内容に差がないようにしていきたいと考えております。</p> <p>公立がある種の水準を果たすべきだと思う一方で、民営化は進めておりますが、民間のそういった力を借りながら、公立も追いついて引き上げていこうと取り組みをしております。</p> <p>これも時間はかかってしまいますが、尼崎市内の保育所であれば、同様のサービスをしていきたいと思っておりますので、ご意見としてしっかり受け止めておきます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>自分に合ったプログラムを受けるという時間と障害の有無に関わらず皆で遊ぶ時間と両方があった方が良いというご意見も大事なポイントだと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p>
市民	<p>たじかの園に子どもを通わせております母親です。</p> <p>尼崎養護学校へバス通学で通わせていますが、カーシート(チャイルドシートのようなもの)が2つ給付してもらえないのです。</p> <p>家用は絶対に必要じゃないですか。尼崎養護学校用バスに乗るために、新たなカーシートを給付してほしい。</p> <p>5年に1回のやり直しの制度はなんとかならないのですか。</p>
市長	<p>要するに、ご自宅用は、ご自宅用で車につけているわけですね。</p>
市民	<p>今子どもは4歳ですが、5年後は9歳になります。</p> <p>1年生になる頃にどうやって通うのか。送迎バス用のカーシートを別には作れないです。</p> <p>予算が足りなくて、5年に1回しか補助がつかないということですが、本当は、自宅用と尼崎養護学校用の2つ必要です。</p>

障害福祉課	<p>いつもお世話になっております。障害福祉課です、今お話されているのは、日常生活用品、もしくは補装具の関係の内訳予算のお話でしょうか。</p> <p>いわゆる障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業の中の1つとして、給付がありますが、確かに一度作られた分については5年間という期間があることはあります。</p> <p>ご要望は夏にもお話をしておりましたが、担当でいろいろ考えておまして、市の制度の中で変更できるのであれば、そのような形で予算取りをしていきたいと考えております。</p> <p>国の中での項目であるとか、決まりであるとかで変更できない部分があるかも知れませんが、今のところ検討しているところです。</p>
市長	<p>今検討中ということですので、持って帰らせていただきたいと思います。</p> <p>ただ、さっき、国の制度が今見直しをしようとしている時ですので、今現場から声をあげないといけないと思っております。でき上がってから、あれこれ言っても国は変えようとならないので、今から新しく設計しなおすとなっているときに、最も現場に近い自治体側がいろいろ言っていかなければならない。</p> <p>例えば、先ほどのガイドヘルパーの話でもありましたが、今日学校の通園にガイドヘルパーの派遣をお願いしたいのに、通園や通学は使えませんという制度になっており、こっちの方が優先順位の高いというところに、使えないというのは、制度設計に違和感を感じることがあると思います。</p> <p>そういったところは、国に働きかけるように内部で議論をしていこうとしている。</p> <p>今日即答できないことも多いかとは思いますが、皆さまが感じるおかしいところをおっしゃっていただければと思います。</p>
市民	<p>先ほどから保育所の話が出ておりますが、一時保育をお願いしても、障害があることを伝えると消極的というか、体制が整っていないことを理由に、遠まわしに断られてしまいます。</p> <p>学校もそうですが、現場の先生の柔軟な対応、意識を高めていただき、ハードをまず固めていただいて、その次にソフトの部分を勉強会などで進めていただきたい。</p> <p>あと、小学校の校長先生も対応がいい先生も、もちろんいらっしゃいますが、大体があまり歓迎されない先生が多いです。私達も勇気を持って、行くことも勇気があることですが、その中でそういう対応をされるとこちらも傷つきます。</p>
市民	<p>校長先生の意識だと思うんですが、このようなことは変えていただけるのか。</p>
市長	<p>校長先生にもっといろんなことに前向きに、対応してほしいというお声はいろいろな所で聞いております。</p> <p>教育委員会に聞きますと、学校は沢山のことを期待されていて、あれもやってほしい、これもやってほしいと言ってこれ、校長先生も手一杯の状態になっているようです。</p> <p>ただ、障害児を地域の中でも皆で受け入れて、育てていこうということは、古くから継続して取り組んでいる問題です。最近、新たに出てきた問題ではありません。</p> <p>そういった意味で校長先生は、やはり自分の責任範囲をしっかりと決められる方が多かったですようですので、それについては他のことも合わせてやっていかなければならないと思います。</p> <p>例えば、放課後に絶対に校区外の公園に行ってはいけませんと言ったら、こっちに近い公園があるのに、遊びに行けないということが起こっていて、公園を再整備することの壁になっているのです。</p> <p>このようなことではいくらお金があっても足りないし、ちょっとおかしいのではないかと、本末転倒ではないかということが他にもあるものですから。ただ、校長先生も世代交代が進んでおりますので、その中で小学校と中学校の校長会を行っております。</p> <p>私も校長会の出席のお誘いがあるので出してみようと思っています。</p> <p>そういったことも含め、校長先生が世代交代をしている時期にお願いをしていきたいと思っております。</p> <p>吸引などの心配な部分は市がサポートするというので、一緒に取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p>
市民	<p>園を卒園してからの訓練ができてなくて、通っている間は週2、3回だった訓練の頻度が月に2、3回となっていて、大阪の病院まで通っています。</p> <p>移動が大変で、できれば尼崎の園の近くに訓練する場所ができれば、移動の負担が少なくなるので助かりますが。</p>
市長	<p>園に通っている間はこの場所でできるのですか。</p>
市民	<p>園に通っている間はたじかの園でできます。</p>
市長	<p>卒園後はたじかの園ですか、それともセンターの方ですか。</p>

市民	<p>4歳児の子どもがたじかの園に通っている母親です。</p> <p>通園している間は、月2、3回は訓練を受けることができますが、卒園すると6ヶ月で8回は訓練できるが、それ以降は待機となると聞いており、PT（理学療法士）だけでも2年待ち、OT（作業療法士）だけでも5年間待ちとなっており、子どもの体って成長の段階なのに、5年待つとなれば、待っている間に子どもの体が硬くなって、大きくなり、大きくなると親が大変になります。</p> <p>遠くの大阪へ行くよりも尼崎で訓練を受けられるようにしてほしい。</p> <p>例えば産業高校の跡地に病院ができるが、そこに小児リハビリセンターなり療育施設を作ってもらえると助かります。</p>
市長	<p>県立病院に作れるかどうかはわかりませんが、場所的にはいい場所です。</p> <p>あと小児には力を入れてもらうようにはしておりますが、どちらかというと産業高校の跡地にできる県立病院は、救急に力を入れていただくようになっております。</p> <p>リハビリの部分が入るかどうかは全くお答えできない状況です。</p> <p>ただ、ご意見があるということで、少し状況を確認してみます。</p> <p>学年が上がるにつれて、待ちが沢山出てしまうのでしょうか、その理由は。</p>
	<b>所管課よりコメント</b>
市民	<p>たじかの園だけ通っている子どもたちが何とか認められたとしても、森之宮や南大阪でPTでの訓練を受けているのであれば、たじかの園ではPTをしないで下さい、とか。</p>
市長	<p>尼崎市外の方でも受けられるようになっているのですか。</p> <p>尼崎市内の方は大阪に行っているのですよね。</p>
市民	<p>私の子どもは、たじかの園でPTを受けており、OTも受けなかったのですが、OTの感覚統合療法というのを受けようとしたら、2年待ちだった。</p> <p>私の子どもは、小学5年生になりますが、今から始めるのが本人にとって一番良いのですが、あちこちからみんな来て、2年待ちです。西宮の財団法人へ行くと3ヶ月待機でした。</p> <p>結局市内でPTやOTをする所というのが少ないため、待機期間が長い。</p> <p>そのために市外や県外に行かなくてはならない現状です。</p> <p>市内でたじかの園のような存在がもう1つか2つあれば、分散できると思うんですが。</p>
市長	<p>まず総量が足りていないということですね。</p>
市民	<p>実際にPTの訓練、OTの訓練は絶対量が足りませんし、量に対して子どもが成長するのに合っていない。</p> <p>子どもからしたら就学前までに伸ばしておかなければならない、筋緊張を和らげるにしても、実際にはそれを待っておかなければならない。</p> <p>診療報酬があるにも関わらず、需要に対する供給が追いつかず、病院に通うと満員のため待たなければならないのです。</p> <p>あとうちの妻も障害をもっているのですが、言語の訓練や作業の訓練を受けたいと申し出ると、東京の方に行ってくれと言われました。</p> <p>国内に1箇所か2箇所しか大人が訓練を受けるところがなく、たまたま県立尼崎病院で言語の訓練が少し受けることができましたが、読解という限られた訓練しか出来ず、18歳を過ぎると制度的なものなのかも知れませんが、どこも受け入れてくれない状況です。</p> <p>たじかの園も18歳未満が対象ですので、受け入れ先がなくなってしまいます。</p> <p>この点もどうにかならないのかと感じます。</p>
市長	<p>今は施設でも何でも18歳オーバーの問題もあり、既に制度が陳腐化しているのは、いろんな側面が出ているかも知れませんが、いずれにせよ成長期のお子さんがタイミングよく訓練を受けられないということが優先順位としては問題として大きいのではないかと思います。</p> <p>ただ、その6回で終わってしまうというのは診療報酬とかの制度上の制約があるのかも知れませんが、もしかしたら、西宮から大阪ぐらいまで連携しながら取組んでいかなければならないかも知れないですね。</p> <p>県立尼崎病院で上手くいくかどうかはわかりませんが、全く総量が追いついていないことはよくわかりましたので、宿題にさせていただきます。</p>
市民	<p>市長がおっしゃられた、子育てをしやすいまちづくりに、前向きに考えていただけたらと思います。</p>
市長	<p>成長期に訓練を受けることができないと、親の方も精神的につらいと思います。</p> <p>たじかの園の方々は時間が迫っており、早く出ないといけないと聞いておりますので、たじかの園の方で何か言っておきたい方がおられましたらご発言ください。</p>

市民	<p>子どもが3歳で、一時保育に通っているが、親と一緒にという制約があるため、月1回しか通うことができていません。民間の施設は市が介入できないと聞いておりますが、なんか保育所によって対応が違います。ある保育所は親の同伴が必要だったり、あるところでは不要だったり、しかも一時保育は同伴の所も親がしっかり付いていて、2,500円しっかりと取られるんですよ。</p>
市長	<p>それは障害を持っているから同伴でないと駄目と言われるわけですか。 本来は一時預かりというのは、親と一緒に居なくても預かるというのが一時預かりなので、親と一緒に行くのは、本来ならば一時預かりとは言わないのですが、一緒に来てほしいと言われる訳ですね。</p>
市民	<p>先ほど市長がおっしゃられていたように、民間にどんどん委託してしまったら、民間は表向きは障害児を取りますと言ってはいるけども、面倒だから取らないとか、民間によって対応が違ってくるので、どこかで市が介入して障害児を受け入れてくれる所を残しておく必要があり、全部民間にしてしまったら駄目だと思います。</p>
市長	<p>尼崎市は地域が狭いので、一定の公立が残っていれば、そこは公立が責任を持って対応していこうという方針を立てています。 ただ、より近い所に私立保育所があるので、なるべく通園の負担が少ない方がいいというお声があるのも承知しております。</p>
市民	<p>地域によって、例えば塚口の方にマンションが多く建っていますが、入所で競争になりますので障害児がどんどん弾き出されます。 あまり詳しくは調べておりませんが、ドクターから聞いた話では、大阪市は障害児を先に受け入れる体制を取っているとのことでした。助成金が大阪市から出るようですので、こういうことも考えていただけたらなと思います。</p>
市長	<p>全ての保育所に、同じレベルのスタッフを置くことは難しいと思います。</p>
市民	<p>それは無理だとは思うのですが、障害児に特化した保育所を各地域に置いていただけたらと思います。</p>
市民	<p>人口が集中しているところは、枠を増やすとか、いろいろ考えていただきたい。 それとあともう1つは、STとかOTとかの訓練が少ないという声がありますが、最近民間のデイサービスでもOT、STをやり始めた事業所もあります。 市で対応できないのであれば、そういった事業者に出成金を出して、訓練する場所を増やしていただければと思います。 訓練しないと子どもの体がどんどん硬くなっていくと怖いので。 硬くなっていくと看病ができなくなるので、余計に事業所を作らなければならないと思うんです。</p>
市長	<p>民間がやっておられるのは、医療機関ではないということでしょうか。</p>
市民	<p>医療機関ではなくて、デイサービスの中でSTさん、OTさんを雇っている事業所が出てきているので、リハビリセンターを作るということも大切ですが、とりあえずの対策として、民間から広げていくというのはどうでしょうか。</p>
市長	<p>ありがとうございます。 一旦ここで区切りましょうか。今日ここで出なければならぬ方は出ていただき、残られる方はお残りください。 あと20分ほどありますので。</p>
市民	<p>市長の耳に届くまでにフィルターをかけられてしまう。 行政の中間管理職の方々に、市長の耳に入る前に蓋をしるというふうに、フィルターがかかって、聞こえなくしてしまう。 だから、こういう形で直接お話できるということはなかなかありません。</p>
市長	<p>大丈夫です。また機会を作りますので。</p>
市民	<p>少し学校のことで言わせてもらいたいのですが、ある小学校に行ったときに、教頭先生に「お宅は障害を持っていてかわいそう」と言われ、すごく失礼だと思いました。 校長先生にしてもそうですが、一般教員に対しても認識が少ないと思います。 特別支援学級に先生が2人おられ、その2人は良かったのです。</p>
市民	<p>一般の学級交流の中で、校長がどうか、教頭がどうかではなくて、一般教員にまで対応がずさんであると感じます。 一般の学級との交流といってもほったらかしにして、小馬鹿にされている感じだったので、3年生のときに辞めました。 大きくなってから交流したいとなっても学校が受け入れてくれないとか、大きくなればなるほど交流が難しいというのはおかしいと思います。</p>
市長	<p>それは校長先生、教頭先生レベルでそういう対応になっているということですか。</p>

市民	<p>多分、教育現場の中だと思います。</p> <p>小学校5年生のときに、交流を申し入れました。</p> <p>断られたのは、たまたまある小学校だったから言ったのか、他のところならそうは言わないのかわかりませんが、聞くところによると大体の学校は高学年になってくると、難しいというようになっているようです。</p> <p>私立の学校ならば、教員が気に入らなければ親が転校させて学校を変えたらいいですが、公立学校だったら、市が介入できるものであるならば、教員の指導をしてもらいたい。</p>
市長	<p>おっしゃっていることはよくわかります。</p> <p>しかし、教育委員会というのは昨今話題となっておりますように、独立した組織ですので、首長の私が介入していい部分としてはいけない部分があります。</p> <p>もちろん、きちんと対応してくださいとは言っておきます。</p> <p>私たちが予算を持っておりますので、環境を整えていくのも私たちで行います。</p> <p>ただ、人事権となりますと私にはないので。</p>
市民	<p>人事とかではなくて、教育委員会に対して、ちゃんとした教育をしてくれという声かけをしてくれたらと思います。</p>
市長	<p>はい、それはもちろんやります。</p> <p>お話を伺っている中で、お集まりいただいている、お一人お一人のお子さまの状況や障害の程度が異なっていると思います。</p> <p>一概には対応できないという部分もあるという前提です。</p> <p>ただ、先ほど聞いたお話はかなりレベルの低いお話だと思います。</p>
市民	<p>私の息子は公立には行けたのですが、先ほど言ったような対応だったので行かざなかつたのです。</p> <p>県立阪神特別支援学校に入れたのは良かったと思っておりますが、ある小学校教員はあまりにも態度が悪かったので、行かなかったのです。</p> <p>そういうことがあると、子どもを預けることはできませんし、実際毎日迎えに来てくださいと言われてたら、ガイドヘルパーさんをお願いしなければならない。</p> <p>あと、チャイルドシートとかは、尼崎養護学校で発注はできないのですか。</p> <p>これは個人が発注しなければいけないものなのですか。</p> <p>登校してくる子の安全を守るのは学校の義務ですので、尼崎養護学校の方で用意することはできないのですか。</p>
障害福祉課	<p>7月にご要望をいただいたときに、障害福祉課より教育委員会に見解を問い合わせてみましたが、教育委員会の見解としては福祉サービスとして考えているとのことでした。</p> <p>要するに、養護学校の方では作成させていただくということは考えていないということでした。</p>
市長	<p>養護学校についてはすぐに答えることはできませんが、いずれにせよ、学校現場で、学校の先生方がいろいろ先回りして心配しておられると言うことですが、そういう事を言っていたら教育なんてできません。</p> <p>今回ある中学校に、エレベーターが付いてないからといって問題になりかけたことがありましたが、何を言っているんだと思いましたが、結果的にはエレベーターを付けることにはなりましたが、私たちもそんなことでぎりぎりまで当事者の方を心配させていることは、反省しているところです。</p> <p>一気に全ての学校に浸透することは時間を要するかも知れません。</p> <p>他にご意見はございませんでしょうか。</p>
市民	<p>うちの子は気管切開をしているのですが、今は浪人のような状態で、来年にからたち幼稚園に入園する予定です。</p> <p>公立だったら、立花幼稚園ですが遠いし、同じ小学校へ進級する子がいないため、普通の小学校へ入れようと思っており、少しでも一緒に進級する子が多い、からたち幼稚園の方を選びました。</p> <p>うちの子は気管切開なのですが、自分で痰も出せて、吸引の練習をさせているので、今も一時保育で普通に過ごせています。</p> <p>私は仕事をしており、子どもを預かってもらえなくて、昨年も保育所に結構言ったのですが、それでも医療行為と一括りにされて預かってもらえない。</p> <p>子どもの中でも程度が違い、自分で吸引できる子もいれば、お手伝いが必要な子もいる。</p> <p>子どもには教育を受ける権利があり、普通の幼稚園に通って、母親から離れて精神的にも立ち立する機会を与えてほしいのに、それをなかなか得られないのは精神的にもつらかったです。</p> <p>福祉課に行っても、保育課に行っても、救済措置がないと言われて、あこや学園にも入っていないので母の会にも入れず、放り出された感じがすごく孤独でした。</p> <p>せめて、平成24年度予算編成に向けた主要取組項目（総括表）の5番と6番の隙間がないようにしてほしい。</p> <p>先ほど、柔軟な体制をとっていくといった話がありましたが、それは学校の先生にされるのか、それとも外部からガイドヘルパーさんなどを入れるのか。どうお考えですか。</p> <p>絶対数が少ないため、財政的にも難しいとは思いますが。</p> <p>例えばうちの子とかでしたら、仕事行くのに使えるのが成人年齢以上だけです。児童年齢は看護師さんがいないと断られ</p>

	<p>てします。</p> <p>明細を見たら結構かかっているわけじゃないですか。</p> <p>幼稚園に一人で通うことが出来れば、そういうことに自立支援を使う必要がないと思うんです。</p> <p>そういう方は結構いると思うので、もうちょっと柔軟に教育が取れるようにしていただきたいと思います。</p>
市長	<p>今お話のようなご自分でいろいろ練習もされていて、比較的自分で完結して学校生活を送られているということですね。</p>
市民	<p>保育所も初めはついて行っていたのですが、今はもう昼過ぎまでなので、吸引がいりません。</p> <p>あと携帯電話を持たせているので、ボタンを押したらすぐ私に電話がかかるようになっています。</p>
市長	<p>吸引等軽度の医療行為については、早急にスタッフの不安を取り除かないと、どうぞ来てくださいと言えないといったところで、悪循環になっているのだと思っておりますので、それは今いるスタッフの力を上げないといけなと思います。</p> <p>基本的に小学校の先生も含めて。あと外部から人を助けてもらうかどうかについては、障害の程度によると思います。</p>
市民	<p>うちの子は気管切開しているのですが、自分で痰も出せませんし、練習したら吸引もできますが、いざ、気管切開の管が外れてしまうと、ヘルパーでは再挿入は法律上できないと思うんです。</p> <p>そうなると窒息死するのをただ見届けるのか、それとも医療行為ができる人が再挿入してくれるのか、親が現場にかけつれるとなると時間がかかり死んでしまうと思うんです。</p>
市長	<p>そうなってくるとハードルが高くなり、すべての学校に看護師を配置するのは難しいですが、養護の先生はできないのでしょうか。</p>
市民	<p>養護の先生でも看護師免許を持っている人もいれば、持っていない人もいます。</p> <p>やはり、できませんではなくて、お互いの立場から一歩踏み込んだ話し合いの場が必要かと思うので、1人でも対応できる人がいれば、親も心強いし、現場の先生方もすごく安心すると思うんです。</p>
市長	<p>市内に障害をもつお子様がどれだけおられるのか、実際の数字がわからないため、無責任なことは言えないのですが、ただ、管が外れてしまったときの対応となると難しいですね。</p>
市民	<p>園田の方に1人いらっしゃるんですよ。</p> <p>小学校3年生ぐらいのお子様で、自分で出来るということを前提で通っていますので、管に関しては先生はタッチしないということになっているようです。</p> <p>うちの子も初めに行ったときに、養護学校へ行ってくださいと案内されました。</p> <p>母親としては、幼稚園も行かせてあげたいという思いもあって、聞いたら同じように、吸引については学校はタッチしない、自分で吸引するなら学校に通ってもいいという話を聞きます。</p>
市長	<p>たまたま、その年に入学してくる子がいたら必ず看護師を連れてくるような体制を作るのは確かにハードルが高いですね。</p> <p>もし程度が明らかに違うのであれば、この子には看護師が付くけど他の子には付かないというのが、合理性があるとなるのかも知れませんが、もしかしたらそういう看護師をたくさん配置していないと、不平等となるのであれば、考えていかなければいけないと思うので、具体的に検討していかなければならないと思います。</p> <p>ただ、通常の痰の吸引とか比較的危険性がないところは皆でやっていき、まだ子どもも低学年で、全部自分で対処できない場合だけ、臨時的に手厚いサポートをしていけないかということ、次の課題だと思います。</p> <p>切実なご意見、ありがとうございました。</p> <p>他に何かご意見ありますでしょうか。</p>
市民	<p>去年の10月1日に、4月1日からの施行となるかと思うのですが、パーキングパーミット制度、障害者用の駐車スペースに掲げることが、兵庫県で決まっているのですが、尼崎市のホームページを見させていただいている中で、この制度について何も触れておりません。</p> <p>これは公共施設や病院、大型スーパーなどの車椅子使用、あの万国共通の車椅子のマーク、あそこについての車椅子のマークを掲げていけば、駐車スペースについて利用許可制にするという制度があるのですが。</p> <p>これについて6,200万円ほど兵庫県は予算を組んでいるんです。</p> <p>それに対して西宮市、姫路市、尼崎市では何の表示もなく、困るのは障害者用の優先駐車スペースに平気で健常者が駐車していることです。</p> <p>これを打開するために、この制度があるのです。</p> <p>それは、4月1日に施行なんですか。</p>
障害福祉課	<p>正確にはお答えできないかも知れませんが、兵庫県では兵庫県譲り合い駐車制度という制度がございます。</p> <p>これについての情報等は尼崎市でも頂戴しておりまして、兵庫県内の各市で話し合いをしており、兵庫県が主体となって会議はしております。</p> <p>まだ、具体的な情報をホームページに載せる段階のところまでの精査は、市としてはできていないというのが現状です。</p> <p>それはわかっているということですね。</p> <p>スピードアップするように言っておきます。</p>



市長	<p>今日は全員の方に、ご発言いただけなかったかと思うんですが、いくつか切実なお話を伺い、私の方で、もう一度担当と勉強をしながら、判断すべきは判断して進めていきたいと思っております。</p> <p>ただ、今日思いましたのは、こういう機会は非常に大事だと思っております、できればまた、私の任期中に、たじかの園とあこや学園という形で、できるかわかりませんが、障害者の当事者グループの方々と直接お話する機会を持ちたいと思っております。</p> <p>私も体が1つしかなく、頻繁にこのような機会を持つということはできませんが、担当課が皆さまの方を向いて仕事をしているのを信頼していただけるようにしないと、市役所の仕事がまわらないと思います。</p> <p>その辺についても、若干課題があると思いますが、さっきの校長先生、教頭先生の話じゃなく、うちの尼崎市役所の職員の中でそういう問題があるとすれば、それを改善していかないと、いろいろなところで躓いてしまうという部分があるかと思っております。</p> <p>その辺は皆さまに不安を感じていただくことがないように、時間はかかるかと思いますが、しっかり風通しの良い組織を皆さまと一緒に取り組めるような、そんな市役所にしたいと思います。</p> <p>今日はそれも大きな宿題としていただいて帰りたいと思います。</p> <p>今日はお忙しいところ、本当にありがとうございました。</p> <p>今後ともよろしく願いいたします。職員とは意見交換をしっかり進めていきますのでご安心ください。</p>
----	--

#### 所管課よりコメント

小児リハビリセンターについては県病院局に確認したところ、「新病院に小児リハビリセンターの設置は予定しておりません」との回答でした。(保健所 保健企画課)